

新春特集 年頭のご挨拶



堺市長
永藤 英機

新年おめでとうございます。
大阪木材工場団地協同組合の皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴組合は昭和37年の設立以来、働く方の満足度や付加価値の高い工場団地の実現に向け、共同警備や福利厚生など様々な事業を展開されています。昨年は、長年の活動の中で築かれた組合員間の絆をより強めるため、創立60周年記念事業として、組合員企業の役員及び従業員とその家族を対象としたユニバーサル・パーティなど、様々な事業を開催されました。堀川理事長

をはじめ歴代役員並びに組合員の皆様のご尽力に敬意を表します。

今後も、多くの方が活躍できる魅力ある工場団地として、地域経済の発展に寄与していただくことを期待しています。

堺市では、市政運営の大方針である「堺市基本計画2025」の重点戦略に「人や企業を惹きつける都市魅力」を掲げ、地域特性を踏まえた企業誘致の促進や新たな交通システムの導入に注力しています。美原区では堺都心部と美原を結ぶ拠点間ネットワークの形成をめざす「SMI(堺・モビリティ・イノベーション)美原ライン」の実証実験として昨年10月から12月にかけて直通バスを運行しました。また、美原区及び隣接する南河内地域を周遊する「南河内デジタルスタンプラリー」を実施し、観光誘客や人流の活性化を図っています。

昨年10月には「G7大阪・堺貿易大臣会合」が開催され、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」や千利休が大成した「茶の湯」をはじめ堺が有する類いまれな歴史や文化を国内外に発信することができました。来年には「2025年大阪・関西万博」が控えています。これらの貴重な機会を活かし、都市魅力の向上や地域活性化、子どもたちの将来の可能性を伸ばす取組などに繋げたいと考えていますので、皆様には今後もお力添えをいただけますと幸いです。

結びにあたり、大阪木材工場団地協同組合の益々のご発展と、本年が皆様にとりまして健康で実りある一年となりますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



大阪木材工場団地協同組合
理事長 堀川 昇

新年明けましておめでとうございます。
令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は、大阪木材工場団地協同組合の事業運営に対しまして、ご支援とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は、長引くコロナ禍の収束を願いながら幕開けし、5月に感染症法上の分類が「5類」に移行したことから一つの区切りを迎え、本格的な景気回復が期待された一方、国際情勢が依然として緊迫化している状況の中、原材料価格やエネルギー価格の高騰、深刻な人手不足と人件費の上昇、円安の影響等を大きく受け、我々中小企業を取り巻く環境は、先行きに対する不透明感が拭えない状況であったことだと推察されます。

また、木材団地におきましては、ここ数年来、局地的な集中豪雨が多く発生し、わずかな時間で道路冠水や敷地内浸水による影響が多くの企業に出ており、8月には台風が近畿地方を縦断するなど、改めて災害に対峙できる工場団地の基盤づくりが急務であることを痛感している中、今年度の最重要課題として、堺市との協議調整を鋭意進めている「調整池の課題解決と公共移管」については、一日でも早く実現させるため、一層のスピード感と危機感をもって取り組んでいるところでございます。

さて、当協同組合では、創立60周年を記念した各種事業を全て無事に実施することができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜と深く感謝申し上げます。今後も、安心・安全で付加価値の高い工場団地であることを目指し、皆様と共に「次につなぐ」組合運営に努めてまいりたいと考えておりますので、本年も引き続き、協同組合並びに美原団地協議会の運営にご理解とご協力をいただくようお願い申し上げます。

結びとして、皆様方のご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。